



Nestlé。 Good food, Good life

2022年2月22日
ネスレ日本株式会社

ネスレ日本、WWF ジャパンの「プラスチック・サーキュラー・チャレンジ 2025」 に参画し、コミットメントの達成に向けた取り組みをさらに推進

ネスレ日本株式会社(本社:兵庫県神戸市、代表取締役 社長 兼 CEO:深谷 龍彦、以下「ネスレ日本」)は、公益財団法人世界自然保護基金ジャパン(東京都港区、会長:末吉 竹二郎、以下「WWF ジャパン」)による、持続可能なサーキュラー・エコノミーのアプローチでプラスチック諸問題の解決をめざす枠組み「プラスチック・サーキュラー・チャレンジ 2025」に参画します。



世界 186 ヶ国で事業を展開する世界最大の食品飲料企業・ネスレは、2025 年までに、包装材料を 100%リサイクル可能あるいはリユース可能にすること、バージンプラスチックの使用量を 3 分の 1 削減することをコミットメントとして掲げています。このたび、ネスレ日本は、WWF ジャパンが立ち上げた「プラスチック・サーキュラー・チャレンジ 2025」への参画を通じて、日本におけるコミットメントの達成に向けた取り組みをさらに推進していきます。

WWF ジャパン「プラスチック・サーキュラー・チャレンジ 2025」の詳細については、以下 URL をご参照ください。
<https://www.wwf.or.jp/campaign/pcc2025/>

以上

参考資料

■WWFについて

WWF は 100 カ国以上で活動している環境保全団体で、1961 年にスイスで設立されました。人と自然が調和して生きられる未来をめざして、サステナブルな社会の実現を推し進めています。特に、失われつつある生物多様性の豊かさの回復や、地球温暖化防止のための脱炭素社会の実現に向けた活動を行っています。 <https://www.wwf.or.jp/>



© 1986 Panda Symbol WWF-World Wide Fund For Nature (Formerly World Wildlife Fund)

® “WWF” is a WWF Registered Trademark

■ネスレ日本の環境への取り組み

【製品パッケージの改善】

2025 年までに、包装材料を 100%リサイクル可能あるいはリユース可能にすること、バージンプラスチックの使用量を 3 分の 1 削減することを目指し、製品パッケージの改善を続けています。「ネスカフェ エコ&システムパック」では、2008 年の発売以降、継続的にパッケージ素材の改良に取り組んでいます。2020 年秋より「キットカット」のほぼ全ての大袋タイプ製品の外袋をプラスチックから紙に変更しました。

【サーキュラー・エコノミーの構築に向けて】

2020 年 8 月より、ネスレネスプレッソは使用済みカプセルの回収を開始しており、アルミニウムとコーヒーかすを再利用する取り組みを開始しました。また、2021 年 9 月より、全国の西友 48 店舗で回収した「ネスカフェ」等のネスレ製品の紙パッケージが文房具（ノート）やアート作品として新たな命に生まれ変わる“『MOTTAINAI』クリエイティブリユースアート企画”を開始しました。

【ステークホルダー（神戸市）との連携】

2020 年 3 月、神戸市と協働でプラスチックごみ削減を啓発するため、対象のネスレ商品の空きパッケージ回収にご協力いただいた方へ、KOBE エコアクション応援アプリ「イイことぐるぐる」でポイントを付与する全国初の試みを行いました。また 2021 年 11 月には長田区ふたば学舎内のプラスチック資源回収ステーションの立ち上げに参加。コーヒーメーカーを提供し、コーヒーやチョコレート等を楽しみながら、市民がくつろぎ、気軽に立ち寄れるコミュニティを創出するとともに、プラスチック資源循環やサステナビリティへの意識醸成を支援しています。

ネスレ日本のこれまでの取り組み: <https://www.nestle.co.jp/csv/sustainability>